

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 小中一貫校まつのやま学園 十日町市立松之山小・中学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
所在地 〒942-1406
新潟県十日町市松之山 1162-3
E-mail matsunoyama-jhs@edu.city.tokamachi.niigata.jp
Website http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510026
児童生徒数 男子 48 名 女子 43 名 合計 91 名
児童・生徒の年齢 6歳 ~ 15歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

当学園は、地域の自然や人々の生活等を通じて日常生活と環境問題との密接な関係について考え、環境保全や環境創造、持続可能な社会に向けた取組について、探究的な学習を通して、主体的に課題を見出し、多面的、総合的に追求する方法を身に付けることをねらいとしている。また、多様な課題を他者と協力しながら課題を解決し、自分とのつながりやかかわりについて関心を高める学習を推進している。

(2) 活動の詳細

① 山菜採り ～自然の恵みを感じる～

「山菜採り」は45年以上続く当校の伝統行事である。地元のおばあちゃんから、山菜の種類や取り方について事前に教えてもらい、当日は地域の方や保護者の協力を得ながら、約240^{キロ}の山菜を採取した。下処理も行い、その日のうちに温泉街などで販売した。厳しい冬が終わり春の訪れと恵みの喜びを、この活動を通して実感することで、松之山の良さを知ることができた。



②シラネアオイ保護活動 ～ふるさとの花を大切に～

旧松之山町の町花であったシラネアオイは、暑さに弱く開花までに3年はかかるため、繁殖が難しい。また、綺麗な花が故、乱獲をされてきた。そのため、松之山の土地に咲く野生のシラネアオイの数が年々減少してきている。そこで、地元のボランティアの方々が毎年行っているシラネアオイの移植活動を、1年生の総合的な学習の時間で、自然を守る活動の一環として参加した。この活動を通して、ふるさとの花を守ろうという気持ちが高まった。



③こども里山学会 ～ふるさとを知り 発信する～

地元の教育研修施設「森の学校キョロロ」が主催する「第15回こども里山学会」において、1年生が総合的な学習の時間での成果を発表した。これまで学んできた「野鳥」「シラネアオイ」「はざかけ」「ブナ林」について、当日は来場者にその研究成果を披露した。松之山をより深く知るきっかけとなり、ふるさとを愛する気持ちが膨らんできている。



ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(学校・学年行事等)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。
- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

総合的な学習では、「まつのやまタイム」と位置づけ9年間の継続した学びを意識して教育課程を研究している。

③ ー

ネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

まつのやまタイムは学校評価委員会により評価している。しかし、ユネスコスクールとして活動をピックアップして評価していないので、成果と課題は明らかにしていない。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

地域や保護者、多くの人に本学園の取組を理解してもらえたものとする。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

ふるさと松之山を愛し、豊かな関わりの中で、自分に自信を持って成長する児童生徒の育成に努めている。地域全体とより多くの関わりを推進している。

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

- ⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

- ・ 一貫校の優位性である9年間継続した学びの中に、総合的な時間や行事等をリンクさせた取組
- ・ 地域にあらゆる資源を活用した教育活動の推進

(3) 平成30年度の活動計画

検討中